

委員から提出された意見と回答

貴重なご意見ありがとうございました。頂いた意見内容については一部要約しております。
また、内容が重複するものについては、ひとつにまとめております。ご了承ください。

① 令和2年度実績について		
	意見内容	回答
1	重点目標2 認知症の方の賠償事故補償保険加入者は128名ですが、利用実績は0名でよかったですか。 手厚い取組みで素晴らしいと思います。	利用実績は0名となっております。 実際に発生した事故等が補償の対象となるかといった問い合わせもありません。
2	良く実施されていると思います。とりわけ賠償保険は先進的だと思います。もう少しアピールの場を増やしてもいいのではないのでしょうか。	サロンなど地域への出前講座を行う等、より多くの方に情報が届くよう周知していきます。
3	介護者教室の開催について 1回目から4回目までの1回だけの参加でも良いとしてほしかったです。(出来るだけ全部参加とのことでした)	参加者のニーズを把握し、ニーズに合った内容・参加方法を検討していきます。
4	「健康マイレージ」の対象者(内容)が変わってからの推移はどうですか？60歳以上の参加率は高いか低いどちらでしょうか？低くなっていると推測するが問題はなんですか？	60歳以上の参加率に関してはわずかに低くなっています。景品の種類を厳選したことや一人当たりの交換回数の上限が変更されたことが影響しているのではないかと考えます。しかし、マイレージは健康づくりに取り組んでいただく一つのきっかけにすぎないため、景品の種類や交換回数等にかかわらず、今後は町民自らが自分の健康は自分で守るという意識付けは周知啓発できたと考えます。
5	GPSを靴にいれるタイプなどもっと使えるものにしてほしいです。	端末機器の見直し等、より効果的な検索方法を検討していきます。
6	認知症保険について、心配な人が保険に加入しているかわからないことがあります。ケアマネから家族に加入を進めていただいた方がいいと思うので、関係者への周知をより行った方がいいのではないのでしょうか。	今年度も関係機関への周知は行っておりますが、引き続き、関係機関への周知に努めてまいります。
7	包括的に実施されており、高く評価できると考えます。	

8	コロナ禍において認知症サポーター講座等を積極的に開催されていて、ご苦労があったと思います。	
9	立派なパンフレットです。有効活用したいです。	

② 令和3年度計画(案)について		
	意見内容	回答
1	認知症サポーター研修やフォローアップ研修などのオンライン開催を検討してはいかがでしょうか。	集合型養成講座の開催に加え、オンライン養成講座開催に向け準備していきます。
2	密を避ける状況が続くなら、認知症カフェについて、集合型とオンラインの混合で開催を検討されてもよいかと思います。オンライン開催は、自宅からも気軽に参加できるメリットがあります。	認知症カフェについて、現在の参加者は高齢者が中心となっており、集合型開催となっております。適宜、参加者のニーズを把握し、オンライン開催についても検討していきます。
3	重点目標3「災害・その他非常時の支援体制が整っている」コロナ等新興感染症に対する支援(コロナ禍での外出自粛により、孤立化している当事者、その家族に対する支援)も検討されてもよいのではないのでしょうか。(なかなか難しいとは思いますが)	重点目標に掲げてはいたのですが、コロナ禍を経て見えてきた課題を踏まえつつ、認知症各事業の取組を検討していきます。
4	重点目標7「家族等への支援体制が整備されている」介護者の健康保持のためのメニューも入れてはどうでしょうか。(腰痛予防の筋トレ体験等)令和2年度実績の「転倒からの復活」はとても興味深いテーマでとても良いと思いました。	健康保持のため、全住民を対象とした健康増進事業と介護予防事業を、保健センターを中心に取り組んでいます。これらの事業と連携を図っていきます。
5	介護者教室の開催について、夜間の開催を考えてみてはいかがでしょうか。(仕事をしている人のために)	参加者のニーズを把握し、ニーズに合った内容・開催方法を検討していきます。
6	「避難行動要支援者」の共有について、共有だけでなく、活用できる取組を期待します。	「避難行動要支援者」に登録されている方の個別支援計画の策定について、地域と連携をとりながら検討していきます。

③ 初期集中支援チームについて		
	意見内容	回答
1	認知症初期集中支援チームと高齢者相談支援センターの役割分担、対象者の振り分けをどのように行っているのか、ご教示下さい。	東浦町では高齢者相談支援センター職員が認知症初期集中支援チーム員を兼務していることから役割分担はしておりません。また、高齢者相談支援センターに毎月平均10件程、認知症の相談が入ります。その中からチーム員メンバーでどのケースをチームで対象として支援するのかを決めています。
2	令和元年度と比べて令和2年度の新規対象者が半減となっている理由は何だったのでしょうか。上半期のデータだけだからなのかもしれませんが、コロナの影響などがあったのかどうか、資料のどこかに説明があってもよいかと思いました。	令和2年度は上半期のデータのためです。
3	総じて良く運営されていると思います。 ①把握～初期訪問日数は群でのばらつきがうすいですが、緊急度に応じて最適化された結果と考えてよろしいでしょうか。	対象者を把握後、初動対応を早く行うように努めています。 対象者やその家族の都合等によって対象者を把握してから訪問するまでに日数がかかることがあります。
4	また、認知症者の自動車運転の差し止めは現実的に大きな問題です。認知症施策重点目標2に組み込んで対応を協議してよいのではないのでしょうか。	取り組んでいくことができるかどうか今後検討していきます。
5	40才以上からが対象ということを町民にもっと周知してほしいです。(65才以上からとっていました。)	普及・啓発に努めていきます。
6	グラフ書きが多いのだが、そこから何を読み取れるか説明が欲しいです。書面開催とするなら、言葉での説明を丁寧につけてほしいです。	分かりやすい表示、説明の実施に努めていきます。

④ その他		
	意見内容	回答
1	他市町村では、認知症検診が行われ、早期発見、早期対応が行われておりますが、東浦町では如何でしょうか。(認知症初期集中支援チームでは対象者が少ないので、全体的な支援と別に行うべきと考えております。)	フレイル予防事業から認知機能に心配のある方においても抽出に努めてきました。今後は国の指針に基づき、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施において支援対象者の抽出、支援介入に努めていくことを検討中です。
2	認知症については、多くの方々に関心をお持ちですが、まだまだ身近な問題となっておりません。具体的なことを知るにより安心感を得られると考えますので、各地域で複数回の認知症カフェ、本人ミーティングの開催を望みます。	認知症カフェについては、出張型カフェやコミュニティ開催型カフェの支援を今後も継続していきます。本人ミーティングの開催方法についても今後検討してまいります。
3	介護者の心のケアにも重点を置いてほしいと思います。介護者が元気でなければ介護は続けられません。	今年度より条例が制定され、条例に基づき取組を推進しています。介護者の心のケアにつきましても、重点目標7として掲げている通り、重点をおいて取り組んでまいります。
4	小学生に対し認知症サポーター養成講座を実施すると、先生からの共感が大きいと感じます。講座後、共感を得た先生から小学生へ美体験を踏まえて伝えていただくことで、効果的に小学生へ伝わっていると感じます。	先生方も含め、子どもたちにもわかりやすく認知症の正しい理解を深めていただけるような講座内容を検討していきます。
5	サロンで認知症サポーター養成講座をすると対象は70歳や80歳で、自分が認知症になったらどうしようという不安を感じている方が多いです。脳トレなど認知症にならないための予防をしている人たちに、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」について伝えていくことが難しいと感じます。	住民のみなさんの不安を軽減するためには、まずは認知症サポーター養成講座などで認知症への正しい理解を深めていただくことが重要と考えています。その上で認知症になっても安心して暮らせる地域づくりについても、考えて頂けるよう丁寧に周知・啓発を行っていきたいと思います。
6	認知症にやさしいまちづくり推進条例のパンフレットのデザインが親しみやすく、とても見やすいと思いました。	
7	コロナのため、次年度計画もとても立てにくいと思います。お互いにできることを少しずつでもやっていきたいですね。	
8	初期集中支援チームの方々には、住民の相談に直ちに対応していただけており、安心感を持たれています。細部にわたりご苦労いただけますことに感謝いたします。	
9	介護予防について、プラチナ長寿健診に参加しています。少しでも認知症にならないように頑張りたいです。	